

2-2	東京2020中の首都高速道路料金	所属 千葉県立松戸向陽高等学校 氏名 大倉泰裕
資料名	<p>首都高速道路株式会社サイトより https://www.shutoko.jp/ss/info2020/rp/?utm_source=olypara&utm_medium=yda&utm_campaign=text https://www.shutoko.jp/fee/fee-info/2020rp/</p>	
資料内容	○ 東京2020開催時の首都高の夜間割引・料金上乘せについて	
教科書等との関連	<p>中学校公民的分野 市場経済の基本的な考え方 高等学校公民科 市場経済の機能と限界</p>	
キーワード	コロナ 市場経済 希少性 効率 公正	
ねらい	◆東京2020開催時の首都高が実施しているロードプライシングを需要と供給の視点から考察することを通して市場機構の理解を深める。	
活用場面 あるいは 授業プラン の概略	<p>発問</p> <p>東京2020開催時に大会関係車両の円滑な輸送と、物流を含めた都市活動の安定との両立を図るため、大規模な交通対策（ロードプライシング）が実施されましたが、このようなことは効率や公正の視点から見てどうなのでしょう？</p> <p>解説</p> <p>人はその商品やサービスによりたくさんお金を出すということは、それだけの価値を認めている（その商品やサービスにそれだけの満足できると思うからたくさんのお金を出す）のであって、そのとき、他の商品やサービスの購入を諦めているということになる。（トレードオフ）</p> <p>そしてこの場合、首都高を利用したいと思う人を首都高が考える適正な数になるように価格を上昇させることによって需要数を抑えるということをしている。つまり独占状態である供給側が価格を変化させることを通して、需要量を変化させる過程を学ぶことを通して需要と供給に対する理解を深めることができる。</p> <p>価格の変化を通して均衡点(最適な資源配分量)を変化させるということは経済的な方法であるが(効率)、社会全体からいけば公正といえるのかは別な話であり(お金がない人はこの期間中の首都高の利用を諦めるしかない)、その点について生徒に考察させる。またこの制度により普段一般道を利用している人からすると、首都高がロードプライシングを実施中は道路が混んでしまって迷惑を受けることになるが、このような点も含めて、この制度について考えさせる。</p>	
備考	コロナ対応（ワクチン接種）ではこのような価格による資源配分の手法が使えるかを考えさせることもできる。	